

# ゴトゴトシネマ通信

vol.1

発行：9月2日上映時

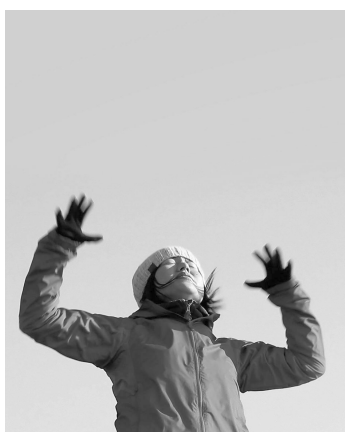
## ●6月上映作品について

### 「LISTEN(リッスン)」

本日は「LISTEN」高知上映会にご参加いただきありがとうございます。この映画の公開は昨年5月。ゴトゴトシネマもいち早くこの前例のない作品の情報を掴んでおりましたが、また高知市内での上映を始めたばかりの頃で、新作ということもあり配給料を払える自信もなく手を挙げられずにいました。おかげさまで継続上映を続けられ、リピーターの方も増えてきましたので、今年になって上映を決めることができました。

視聴はずいぶんスリリングな体験となりました。「無音」というのは、映画の中でも一番重要なシーンに使われる事が多く、つい反射的に固唾を呑んで見守ってしまいます。「LISTEN」では、それが58分間！ぜひ、今日はこの前代未聞な作品を味わっていただきたいと思えます。

牧原監督がよく言っておりますが、賛否両論があるとのこと。この作品は特にストーリーやドラマがあるわけではないので、ことさらいろいろな意見・解釈が生まれるのだと思えます。観る前にあまりいろいろ言わない方がいいと思えますが、ひとつだけ。作品の意味とか訴えたいこととかを論理的に理解しようと思わない方がいいと思えます。どんな芸術作品でも、意味・解釈を優先される方がいいと思えますが、私はあまり同意できません。ただ見たままを「感じる」ことが、この映画を観る上で一番よい鑑賞法だと思えます。ぜひ、心を開いて感じてみてください。ご感想はアンケートの方に、よろしくお願いたします。



「地球を吹く in Japan」 近藤等則氏

## ●今後の上映作品について

### 「ECフィルム」世界の貴重映像」

10月7〜8日@メフィストフェレス

### 「地球を吹く in Japan・近藤等則」

11月11〜12日@メフィストフェレス

「ECフィルム」は、東京での上映が盛り上がりつつあるとの話を聞き、1月からやりとりを始めました。先方も地方での上映は初めてのこのようでお互い面白がって、情報交換させていただきました。ゴトゴトのリクエストを伝え、先方のおススメを視聴し、気に入った作品・そうでない作品を伝え、こちらの意図を汲んでまたおススメを送ってもらい……と言つような形で観た数十本の映像から、厳選した9タイトルを上映します。どれもこれもおススメの貴重映像。特にブラックミュージック、ポリリズム、ジャンベ、ダンス、などが好きな人にはたまらないセレクションとなっています。ぜひご参加ください。

「地球を吹く in Japan」は、昨年ゴトゴトシネマの市内上映計画段階から、候補に入っていた1本。やっとなんと上映にこぎつけました。近藤等則氏はフリージャズ系のトランペッターで、私ぐらいの年代の音楽好きには、いろんな意味で有名な方ですが、今の若い方はひょっとしてご存知ないかもしれません。「地球を吹く」はバブルの頃はテレビにもでてフイフイ言わせていた彼が、「もう人間に音楽聴かすの飽きた」といって始めた活動。アラスカの氷爆や天空の要塞マチュピチュ、イスラエル・ネゲブ砂漠などで、地球の自然相手に即興でエレキ・トランペットをぶっ放します。今回の映画「地球を吹く in Japan」は、その中でも日本での活動をまとめたもの。ロケ地は全国13箇所。高知でも足摺岬での演奏が入っています。予告編はおとなしいですが、本来近藤氏は狂気の人ならではのぶっ飛んだ映像も多々ありますので、乞うご期待！



「地球を吹く in Japan」 近藤等則氏

「地球を吹く in Japan」は、その中でも日本での活動をまとめたもの。ロケ地は全国13箇所。高知でも足摺岬での演奏が入っています。予告編はおとなしいですが、本来近藤氏は狂気の人ならではのぶっ飛んだ映像も多々ありますので、乞うご期待！

gotogoto cinema

上映詳細はチラシ、HP、FBにて

## ●ゴトシネマヒストリー vol.1

### 何ものかに突き動かされて

#### 「ゴトゴトシネマ始動！」



「くまっちゃん祭り」には子どもだけが観に来てくれました。

衝動的なタイトルをつけてしまいました。「もう始動して欲しい経つやないか」と突っ込まれそうですが……。2016年の春から高知市内で自主上映を始めたゴトゴトシネマです。事情通の方からは、「いやお前はその前に1年間土佐山で地域上映をやっつるだろ」と指摘が入りそうですね。その時分から考えると、まったくもって始動して欲しい経ちます。まあ、家で自作スクリーンで映画を見てたときからゴトゴトシネマを名乗ってましたので、そんなことを考えると、さらにさかのぼります。

諸説入り混じるゴトゴトシネマの起源ですが、公的なビューは歴史的に明らかです。それはですね……ドコドコドコドコ(ドラムロールの意)……「くまっちゃん祭り」。

ゴトゴトシネマフレンズの皆さんにおかれましては、ご存知の方も多いかと思われませんが、小松商店のしづきさんが、主催した2012年の物部でのイベント。ここで、ゴトゴトシネマは華々しくデビューを飾りました。上映作品は「アンパンマンとバイキンマン」「やさしいライオン」「津野山神楽「秋葉祭り」「原子力の夜明け」「山地酪農に挑む」「エベレスト日本初登頂、植村直己 VOL.1-1-3」。今振り返ってみても衝撃的なラインナップです。しかも16mm。人間国宝でも目指してたんではないでしょうか。まあ、そんな衝撃の、大人視聴者0人、子どもだけが味方！という上映会を経て、ゴトゴトシネマは今に至るのです。そこから土佐山の自主上映時代までには、2年の歳月を必要とするのですが……。さらにそこから、今回のタイトルの「突き動かされる」までにはもう少々の歳月を必要とするのですが……。次号に続きます。

(「ゴトゴトシネマ」ブログより転載)